

【保健医療計画 実績報告】

事業名	歯周疾患検診					事業番号	1-1-5		
計画内容(P)	全身の健康に大きく関係のある歯周疾患を予防し、生涯における口腔機能の維持・向上へつなげるために、30～81歳までの5歳刻みの方を対象に歯周疾患検診を実施し、かかりつけ医を持つ機会を提供する。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
受診率	%	12.0	10.6	11.3	94%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	平成30年度より、受診対象者に76歳・81歳が加わり、76歳14.2%、81歳13.5%と受診率が高く、全体の受診率を引き上げた。					引き続き受診率の向上を図るための周知を工夫する。			

事業名	生活習慣病予防教室					事業番号	1-2-1		
計画内容(P)	生活習慣病予備軍を対象に医師・栄養士・運動指導士による講習会(講義・実技)を実施する。また、きっかけづくりとなる講習会等を開催する。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
生活習慣病予防教室	回	55	55	55	100%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	広い世代への周知の取組として、より若い世代に生活習慣病予防の啓発を行うため、子育て世代向けのテーマを加えるなど工夫を行った。					プログラムの一部を変更し、栄養士の事業と連携する等、若い世代の家庭に向けた工夫を行い、より広い世代への啓発を行っていく。			

事業名	健康診査・保健指導					事業番号	1-2-2		
計画内容(P)	40歳以上の国民健康保険加入者を対象に、内臓脂肪型肥満とその予備軍を減少するために特定健康診査・特定保健指導を実施している。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
特定健康診査受診率	%	60	45	44	73%				
特定保健指導実施率	%	60	17	13	22%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	30年度特定健康診査受診率、特定保健指導実施率は速報値であり、本年11月頃確定されるため、若干上昇する見込みである。受診勧奨案内を2回発送するなど、実施率向上に努めたが、特定保健指導の実施率は目標値と乖離した状況が続いている。					特定健康診査での年に一度の身体のチェック及び健診結果による生活習慣病予防の重要性について、区民にわかりやすい案内を行い、引き続き実施率向上に努める。			

事業名	各種がん検診					事業番号	1-3-2		
計画内容(P)	胃がん(男女)、大腸がん(男女)、子宮がん(女)及び乳がん(女)検診を実施する。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
胃がん検診(男女)	%	15.0	18.9	16	107%				
大腸がん検診(男女)	%	34.4	28.5	27	79%				
子宮がん検診(女)	%	32.4	24.8	24	74%				
乳がん検診(女)	%	29.5	22.1	20	68%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	胃がん検診は、29年度に内視鏡検査を導入した為、前倒し受診者が多数生じ、その反動から30年度の受診率が減少した。子宮がん検診、乳がん検診は、29年度に無料クーポン券事業の対象者が5世代から1世代となった影響が続き、受診率は減少した。また、8月に、東京都とともに「がん対策推進宣言」を行い、2月に東京都がん検診受診促進アンバサダーの表敬訪問を受けるなど、がん検診の受診啓発を行った。(受診率は速報値)					乳がん検診の無料化とともに、がん検診システムの稼働により、乳がん、子宮がん検診の対象者全員へ無料受診券を送付する。さらに、全5がん検診の未受診者の中から、各検診ごとに世代を絞って再受診勧奨ハガキを送付し受診を促すことで、効果的な受診率の向上を図る。			

事業名	妊婦全数面接					事業番号	1-4-1		
計画内容(P)	保健師等専門職が、全ての妊婦に対し面接を行い、妊娠中の不安の軽減、出産に向けた準備を案内するとともに、支援を要する家庭を把握し、関係機関と連携して適切な支援を実施します。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
母子健康手帳交付時面接	%	85	85	88	104%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	妊娠届出数2,459人中ネウボラ面接実施人数は2,154人(面接率88%)となり、面接率は引き続き向上した。また、医療機関連携におけるネウボラ事業の理解が進み、ネウボラ面接(妊婦全数面接)を受けていない妊婦が関係機関からの紹介で面接に繋がるようになった。					引き続き保健サービスセンター事業での周知と医療機関との連携を図る。また、妊娠期から介入することで早期から必要な支援に繋がるようにしていく。			

事業名	乳児家庭全戸訪問事業					事業番号	1-4-1		
計画内容(P)	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を対象に保健師・助産師が訪問し、母子の健康管理や子育てに関する情報提供を行う。支援が必要な家庭に対しては、保健師による相談を継続し、関係機関と連携して適切な支援を行う。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
乳幼児家庭訪問	%	88	91	91	103%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	母親学級・両親学級やネウボラ面接時等の各機会を通して出生通知票の提出を周知し、連絡のない家庭への訪問を行うことで訪問率は高い値で推移している。また、ネウボラ事業が近隣医療機関に浸透し、医療機関との連携を図ることで、訪問に繋がるケースも増えた。					引き続き高い訪問率を継続していくとともに、支援が必要な家庭に対しては関係機関と連携し、継続的・重層的な支援を行っていく。			

事業名	乳幼児健康診査					事業番号	1-4-2		
計画内容(P)	4か月から3歳までの乳幼児を対象に、発育・発達状態を確認するとともに、疾病を早期に発見し、適切な治療や療育につなげる。子育てのストレスや育児不安を持つ等子育てが困難な家庭を把握し、関係機関と連携して支援する。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
4か月健康診査受診率	%	98	97	97	99%				
1歳6か月児健康診査 (歯科)受診率	%	96	95	89	93%				
3歳児健康診査	%	98	98	99	101%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	乳幼児健康診査の受診率は概ね目標に近い値となっており、各健診において疾病の早期発見と適切な治療・療育へのつなぎを行っている。また、子育ての困難感を抱える家庭を把握し、関係機関と連携した支援を行っている。					健診未来所者への受診勧奨を引き続き行い、高い受診率を維持することで、乳幼児の健康と養育する家庭の見守りを行っている。			

事業名	介護予防普及啓発事業					事業番号	1-5-2		
計画内容(P)	文の京介護予防体操、介護予防教室、介護予防講演会、出前講座、介護予防展を実施して介護予防の重要性を周知するとともに、すべての高齢者が介護予防に取り組むきっかけづくりと取組の機会を提供する。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
介護予防普及啓発事業	人	3,910	3,884	4,178	107%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	施設改修工事に伴う実施回数の減があったものの、認知症予防複合型教室を短期集中予防サービスから一般介護予防事業へ移行し、介護予防展や出前講座等の普及啓発に努めることで、より多くの方に介護予防の重要性を周知し、取組の機会を提供することができた。					文の京介護予防体操は新たに1会場を開設し、認知症予防教室は内容を見直す等により、引き続き広く区民に対し介護予防の普及啓発を図っていく。			

事業名	食育サポーター				事業番号	1-6-2			
計画内容(P)	区とともに食育を推進していく食育サポーターを育成するため、講習会等を実施します。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
食育サポーター	人	210	200	209	99%				
	成果・評価(D)(C)				次年度における取組等(A)				
30年度	ぶんきょう野菜塾では、食や栄養に関する知識・技術を身につけた。また、卒業生との交流を通して、継続的に望ましい食習慣を実践するための機会を得た。				サポーター数を増やすよう、講座内容を充実させる。				

事業名	地域医療連携推進協議会・検討部会の開催				事業番号	2-1-1			
計画内容・計画目標(P)	区内の大学病院・都立病院、地区医師会・歯科医師会・薬剤師会等で構成する協議会及び検討部会を開催し、文京区の地域医療連携における課題や問題点について検討することで、より適切な医療を提供できる仕組みづくりを行う。								
	成果・評価(D)(C)				次年度における取組等(A)				
30年度	地区三師会、区内大学病院、その他関係医療機関からなる協議会、検討部会を6回開催し、地域医療連携について検討した。 地域医療連携情報誌「文京かかりつけマップ」の全面改訂を行うとともに、介護保険課の「介護事業者検索システム」に医療機関情報を登録して、利便性の向上を図った。				引続き、協議会及び検討部会を開催し、地域医療連携における課題や問題点を検討することで、区民が利用しやすい医療を提供できるよう仕組みづくりを行う。				

事業名	災害用医療資材・医薬品の更新				事業番号	2-2-1			
計画内容・計画目標(P)	大規模災害の発生時に迅速かつ円滑に医療救護活動を行うことができるよう、避難所医療救護所で使用する医療資材・医薬品を整備する。								
	成果・評価(D)(C)				次年度における取組等(A)				
30年度	年次計画に基づき、災害用医療資材・医薬品の更新及び新規配備を行い、備蓄倉庫内の保管場所がすぐにわかるよう表示した。				医療従事者等で構成された関係団体と連携し、災害用医療資材・医薬品の品目の見直しを行い適正に整備する。				

事業名	在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画の作成支援	事業番号	2-2-2
計画内容・計画目標(P)	在宅人工呼吸器使用者に対し、災害時に備え具体的な支援方法を盛り込んだ個別支援計画の作成・見直しを進める。		
	成果・評価(D)(C)	次年度における取組等(A)	
30年度	新規在宅人工呼吸器使用者に対しては、災害時個別支援計画の作成を奨励し、既計画者には、モニタリングにより継続的な支援を行った。地域の防災訓練に家族が参加し、災害時のバッテリー充電を経験した。	新規者に対する災害時個別支援計画の作成を奨励するとともに、既計画者のモニタリングを継続して行なう。また、地域の防災訓練等で、家族等が充電体験できるよう調整を行なう。	

事業名	地域安心生活支援事業					事業番号	2-3-2		
計画内容(P)	地域で安心して生活ができるよう、専門相談員による夜間や休日も含めた24時間365日の緊急時相談支援や居宅での生活が一時的に困難になったときの宿泊場所の提供、家族等から離れて暮らしていく準備のための一定期間の生活体験支援を行う。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標(R.5年度)	29年度実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
緊急時相談	件	7,041	7,116	7,663	109%				
短期宿泊利用	日	391	171	164	42%				
生活体験	日	36	37	46	128%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	緊急時相談は前年度より回数が増加し、一定の効果が得られている。ただ、相談に長時間を要するケースもあり、関係者と連携しながら、引き続き対応を検討していく。 短期宿泊利用は前年度とほぼ変わらない利用数であったが、居室数が増加し、受け入れの幅が広がったため、利用者の意向に沿った受け入れが可能になった。 生活体験は退院後の自立した生活を目指す入院患者に有効活用されている。					3事業共、支援を必要とする利用者にサービスを提供できるように、事業の周知を引き続き行っていく。併せて、関係機関が連携しながら、適切な支援を行うことができる体制を整えていく。			

事業名	感染症患者移送等訓練	事業番号	3-1-2
計画内容・計画目標(P)	防護服の着脱や患者移送についての訓練を実施する。		
	成果・評価(D)(C)	次年度における取組等(A)	
30年度	防護服の着脱訓練のほか、患者発生を想定した移送訓練を行った。	定期的な訓練を継続するとともに区内医療機関と移送訓練等を実施する。	

事業名	定期予防接種の勧奨					事業番号	3-2-4		
計画内容(P)	予防接種法に定められた対象疾病、対象者及び接種期間など接種の実施と、国の予防指針に基づく麻疹・風しん対策を重点として接種率の向上を目指す。								
数値目標名(P)(D)	単位	目標 (R.5年度)	29年度 実績	30年度		令和元年度		令和2年度	
				実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
MR1期接種率	%	95	98	98	103%				
MR2期接種率	%	95	94	97	102%				
	成果・評価(D)(C)					次年度における取組等(A)			
30年度	MR1期(生後12か月～24か月に至るまでの間に接種)の接種率及びMR2期(5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間で接種)の接種率ともに目標を上回った。					引き続き、予診票の個別発送、保育園・幼稚園を通したチラシの配布、未接種者への勧奨はがきの送付等を行い、接種勧奨に努める。			